

#Attention for adult only



獣人

Dark battery presents



荒涼とした場所は
落とされた凍結
サーバの様だった

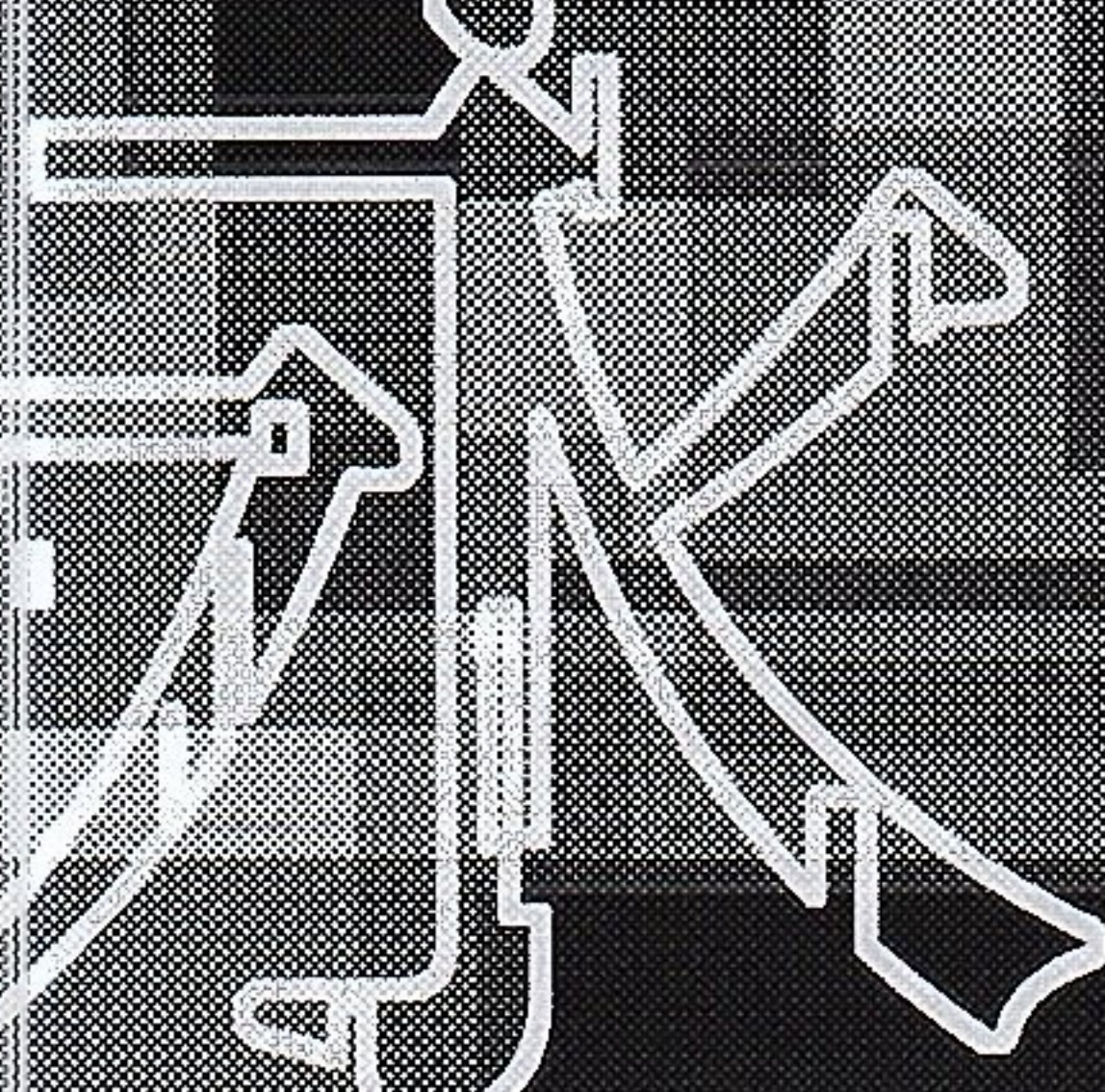


私、

ココ……

私の身体の構成……
メモリにエラーが
生じているみたいだった

マテリアルボディ
有機実体の
時の構成だわ……



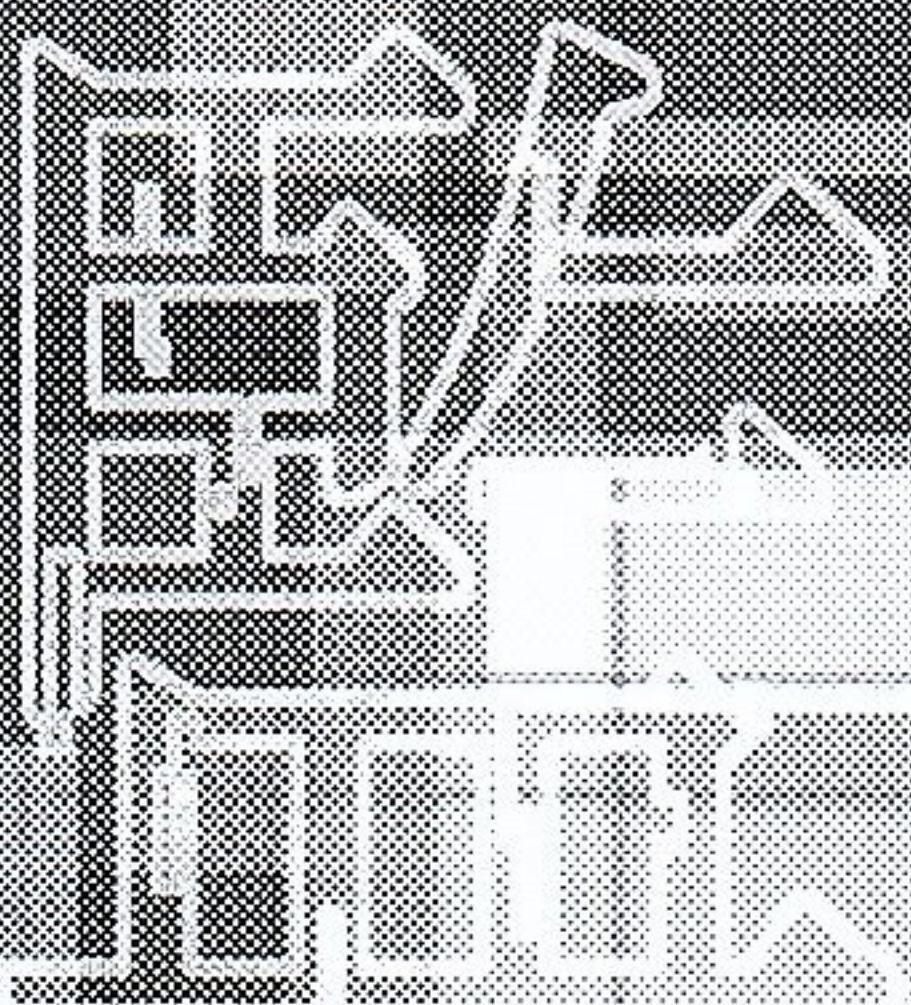
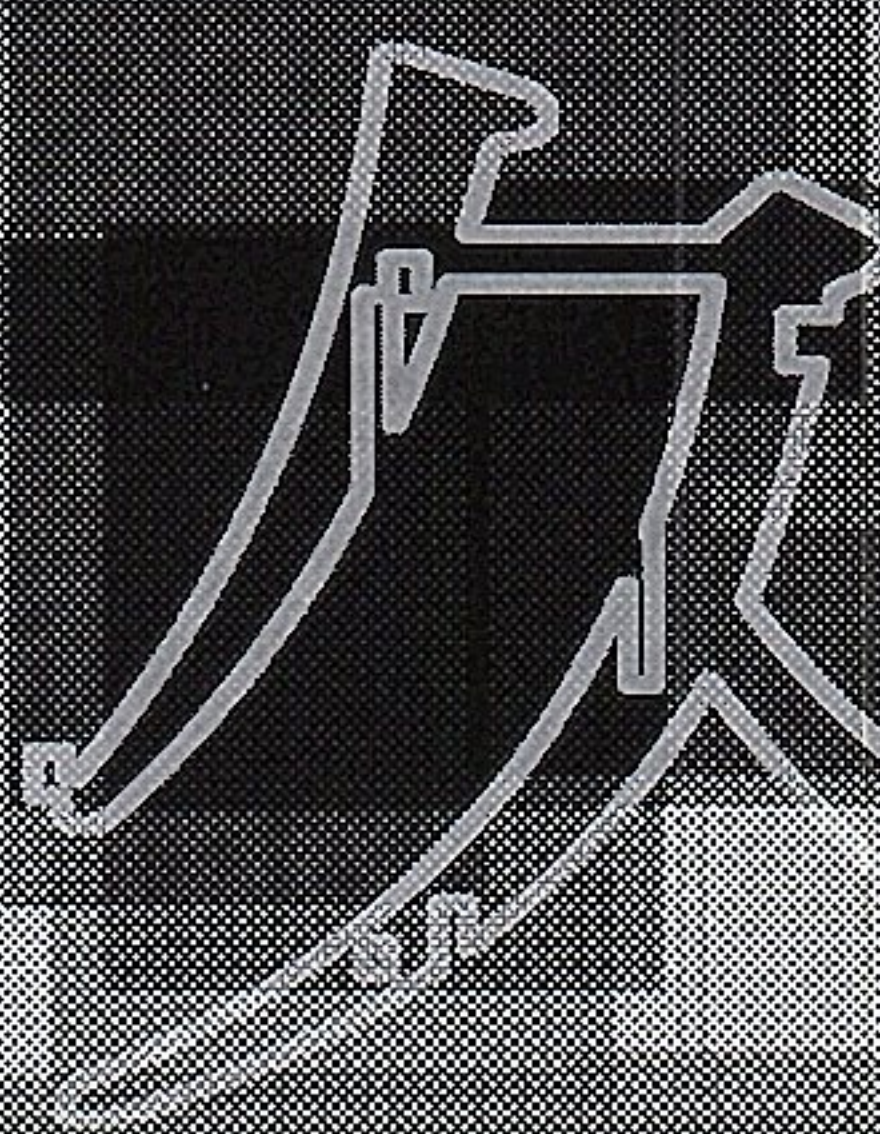
皆さんお元気でお過ごしでしょうか、修羅場、体調最悪で地獄真っ只中の茗荷です。いつも見て下さっている方、初めましての方、今回お手に取っていただいて有難うございます。

■

今回は、見た時からやりたかったアンジェラさん本なのですが・・・はい、始める前から地獄を見ることになるだろう、うん・・・と。始めたらもっと地獄で、かなり無謀な挑戦だったと本当に痛感しております。コロコロ表情の変わるアンジェラさんの魅力にどうにかついていければいいなと思った次第ですが・・・ううーん、どうでしょうかね・・・

■

内容はアンジェラさんが冷凍刑を執行されて凍結サーバに居るトコからのマンガになります。しかし、続編小説見て、サーバに居た時間がすごく短くてビックリ・・・ネタバレ・・・と言うかアニメ未見の方はご注意ください。少しでも楽しんでいただければ幸いです・・・



修羅場



茗荷

凍結サーバの
住人達...

アタ、

新しい、

パーソナルデータ、

新しい人間

ちよちよと
離して!!

離しなさいっ!!

圧縮保存や凍結をされ
メモリの大半を奪われ
消去を待つだけの...

ゴーストのような
存在.....



彼等の

怨嗟の視線は私のエーリエント姿に大きく反応した

保安・員

エーリエント

この程度ツ、いつもなら簡単なプログラムで対処出来るのにつ

アンタ、たちツ

なんなの

メモリだ！

かわいい新入りさん、ココでその姿とは、随分なエリートさんだな

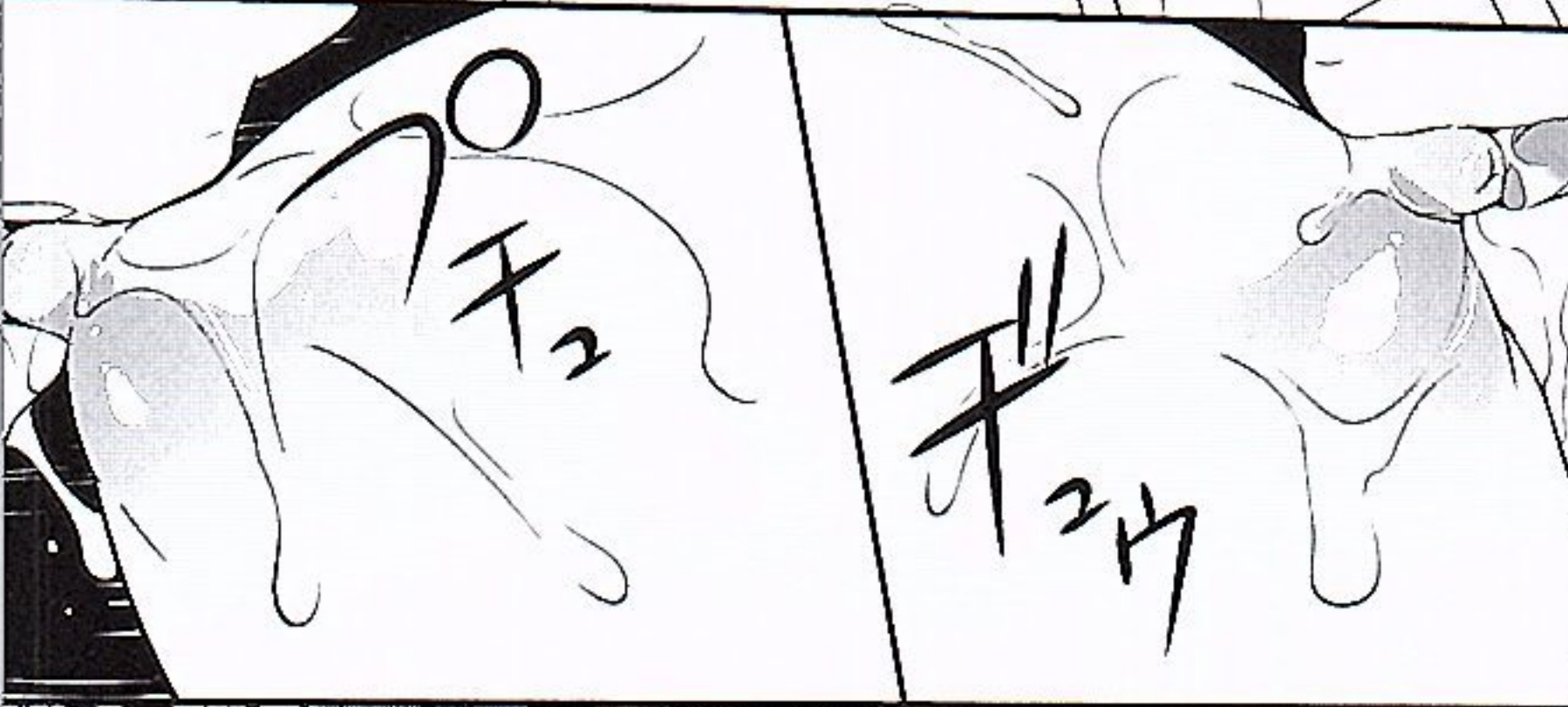
胸に何か注入されたことより、拘束で破れたスーツのもろさに、驚いた・

メモリを差し押さえられ紙のようなテクスチャになってしまったことが怖かった・

さすが、エリートさんの
情報密度は違うね、柔らか
くてすべすべで



早くおこぼれ
が欲しいよ



執拗に舐められ
硬い舌のテクス
チャで刺激され
何か異質な感覚
が胸に...

久しぶりに
上等なき
ありついた



舌でも甘くの貧弱なよ

信じられないけど
私はおっぱいを
噴出させていた

保安員さんの
メモリ少しいた
だいたよ

あのら

さっきの刺激プログラムを合図に、粘度の高い冷たい液体が、私の排泄器官に侵入してきた

いやア、そんなの入れないで……ッ

アッ！
可憐っ！

ココの寄せ集めで造ったアプリだよ

コレで差し押しえられ
ても、まだこんな解像度で
いられるアンタとメモリ
共有出来る

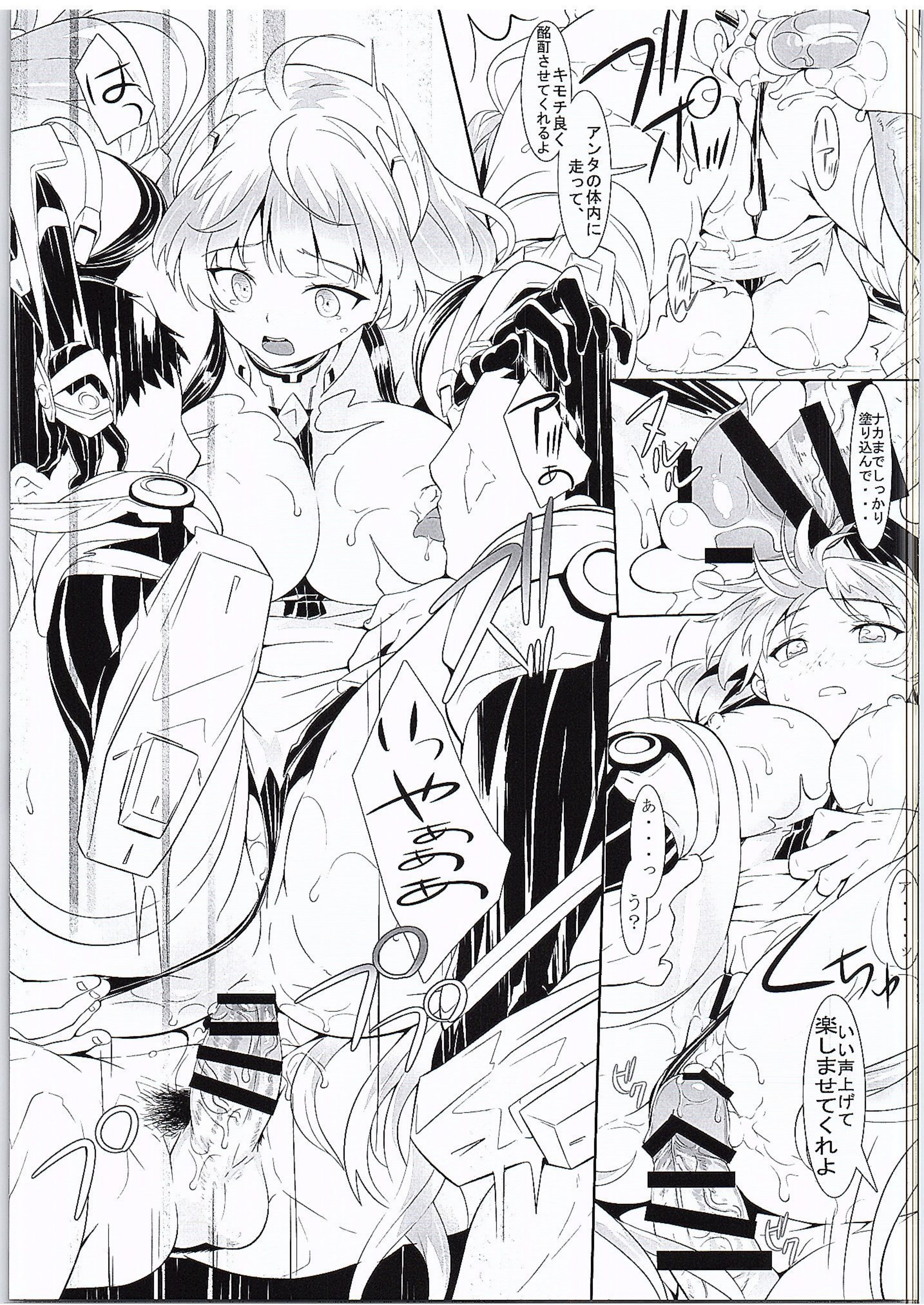
アンタの豊富な
データを利用して
もらっよ

なアに、すぐに
身体に馴染んでくる

アッ

アッ

アッ



キモチ良く
酔倒させてくれるよ

アంతの体内に
走って、

ナカまでしっかり
塗り込んで・・・

ああああ

あ・・・っ
うっ？

いい声上げて
楽しませてくれよ

ちゅ

アంతタみたいな
上等なの初めて
来たよ
マモチいいだろ？

こ・ん・な
原始的で倒錯した

恥ずかしい
ツとのつ
思わな

ホラ、

柔らかく
絞ってきてサ

ケツの中
いい具合だよ

こんな実験動物で
すらない性交
なんて

さっき、乳
で貰った分は返して
やるよ！

粘液で満たされた腸内
に、膨張する感覚と
温かい液体が流れ込んだ

まだまだへばんでくれ

はっ

肝心のトコが残ってんだからな

アンタも楽しめよ
ナマの交尾
の感覚をディーバの
補正なんて受けずに
感じれるんだからな

何ッ・・・で

はっ

はっ

こんな回りくどい事して

私のメモリ
奪うならさっさと

なんなのッ

あっ

わっかんないかなア
俺達は新しいカンカク
を味わいたいんだよ

私は必死に
押さえたけど
そんなのは

お構いなしに
硬い男性器が、ど
んどん割り入ってきた

私のアソコにヌラヌラ
光ったモノが、激しい
水音を立てて入ってく

メモリは
感度を最高に上げる分
だけあればいい

むしろ保安員さん
には高解像度でいて
欲しいね

あーん

何度も突き入れられ
ヌルヌル擦り上げる
感覚が、私をボウっ
とさせた

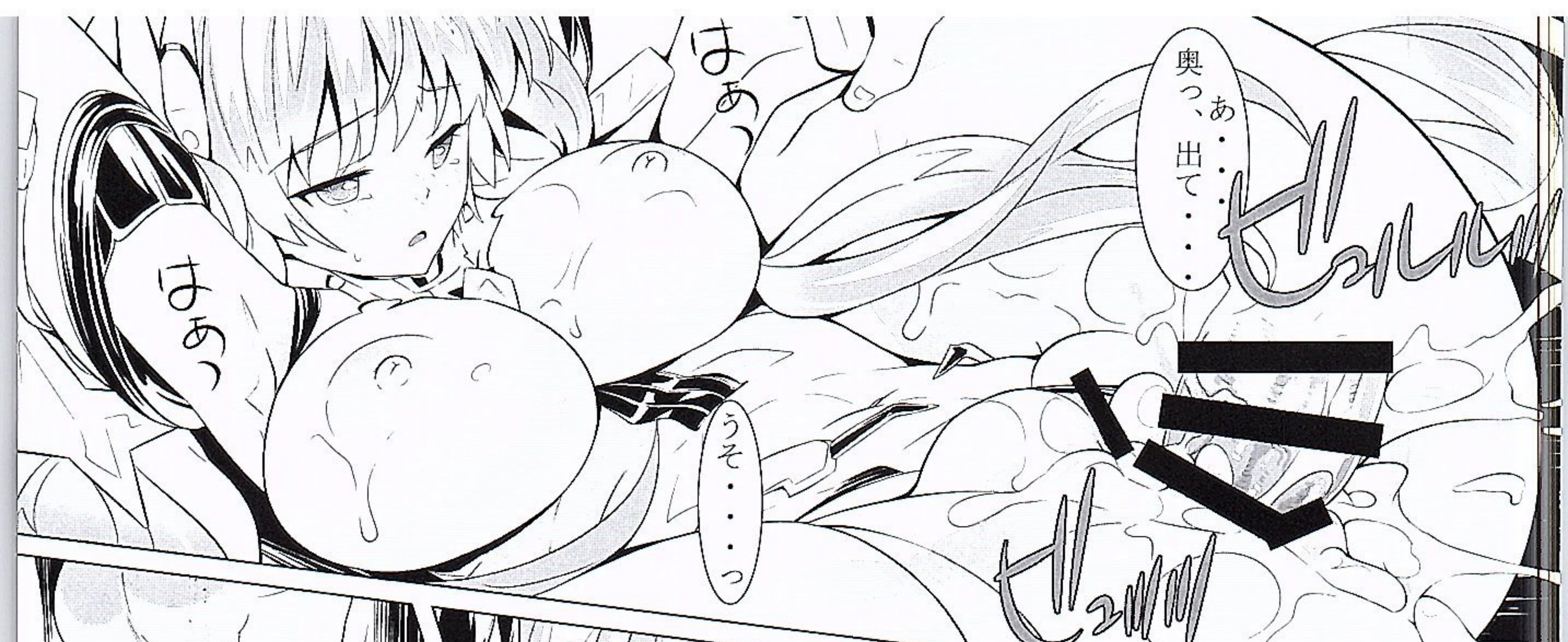
オレ達を
慰めるのに十分
な穴があるからな

たっぷり
吐き出させてもぶらぶら

ああ、たまんねエ
ブツとびそうだ……ッ

わかっていたつもり
だったけど、興味本位
で味わったデーバ規制
の下での様々な快樂とは
全然違った……





奥っ、あ……出て……

はあ……

はあ……

うん……



今度は俺と繋がるのか

私は休みなく組み敷かれ、口内を舐め回されながら、

ア……

ア……

ア……

ア……

ア……



突き立てられる感覚に耐えきれない……

ア……

ア……

ア……

ア……

ア……

際限のない行為で
私の身体には
限界がきてた

マテリアルボディの
時のおかしなフィード
バックと、彼等の
アプリのせいで...

いつまでも分解
出来ないアルコール
の悪酔いみたいだった

身体が
火照って

犯される度、

はな...レッシュ

はッ、

そんな穴ヒクつか
せて、言うことじゃ
ないナア

もっあ
しゃあ

ズッ
ズッ
ズッ

お願い...ッ
ダメなの...ッ

も...あたしッ



貫わなくちや

メモリ……

メモリ……
足りないんだ

そ……か

ない……

あ……れ
プロテクター

わ、たしッ

あたしとッ
繋がって……

もっ……と……その、
おち……ん……ち……ん……挿……れて

私は表示されなくな
ったプロテクターに
メモリ量が不安で、

お願い……

ワフッ……

バカになっちゃった
明確な判断なんて
出来ない状態で……

仕方なくなつて
うっ……ん……何……度も
す……つ……か……り……行……わ……れ……た……行……為……で……

んっ・・・あ

両方・・・ッ

あーっ♡

よしよし、
なんだ、可愛いねエ
保安員さん

たガ
あつぷり
あげるからさ

私の両方の
穴は

彼等
根元の
まのモノ
込んで
飲みを

自分でも驚く
位、うわずった
声が出た

その度に私の
身体のナカに
快感がこみ上げて

あーっ♡

あーっ♡

びくびく
痙攣した

ちみゅお
よっ口で
うちで
かゆ？して

ちゅ♡ちゅ♡





こ...う...?

男性器を直接
口にするなんて...



でも、私の中に
入って、ナカで
いっぱい動いて
キモチ良くしてくれる

うわッ
吸い付くなあ

そう思ったなら
愛おしくなった



だから夢中で
いっぱい啜えて
しゃぶりついた

奥イイよお...



ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

口いっぱいになった
妙に甘く感じる精液
の臭いに酔い、

おっぱい
沢山出るねエ

こりゃ
イッてるな

ナカ
の肉が
柔らかくトロけて
きたよ

乳首を絞られる度
おっぱいを流して
私はイッてしまっ
た...

うわっ
うわっ
うわっ
うわっ
うわっ

何でもい...
何でもい...
から

その事だけで
頭が一杯だった
子宮の方もお尻の
ナカも、いっぱい
かき回して欲しいっ

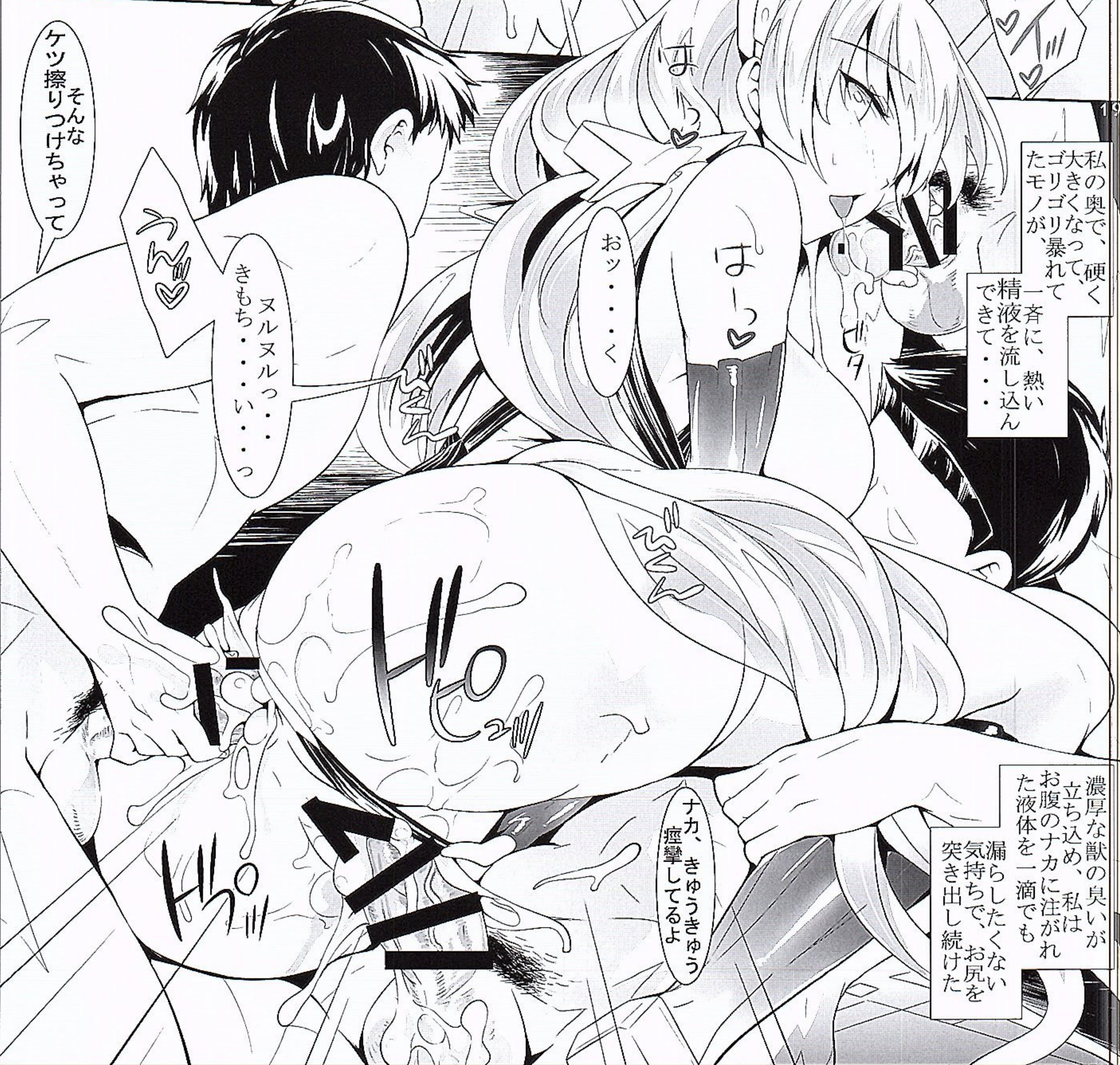
もっとお腹の中
いっぱいにしてほしい

ココがイイのか
両方響くたる?





ほら、出すよ、ナカに全部……ッ



そんなケツ擦りつけちゃって

ヌルヌルっ……きもち……い……っ

おっ……く

私の奥で、硬く大きくなつて、ゴリゴリ暴れたモノが、暴れて一斉に、熱い精液を流し込んできて……

濃厚な獣の臭いが立ち込め、私はお腹のナカに注がれた液体を一滴でも漏らしたくない気持ちで、お尻を突き出し続けた

ナカ、きゅっきゅっ痙攣してるよ

美味しそうなの
お尻晒して
フウ、

ほあ

で無事でしようか
アンジェラザ
……ル……ク

3

何か……
聞き覚えのある
声……
気がついた

せり上がってくるよ
ザーマンが

アン
ラ・ジエ

だけど、あたしには
何だか全て霞がかった
ボンヤリしたモノに
しか感じられなくて

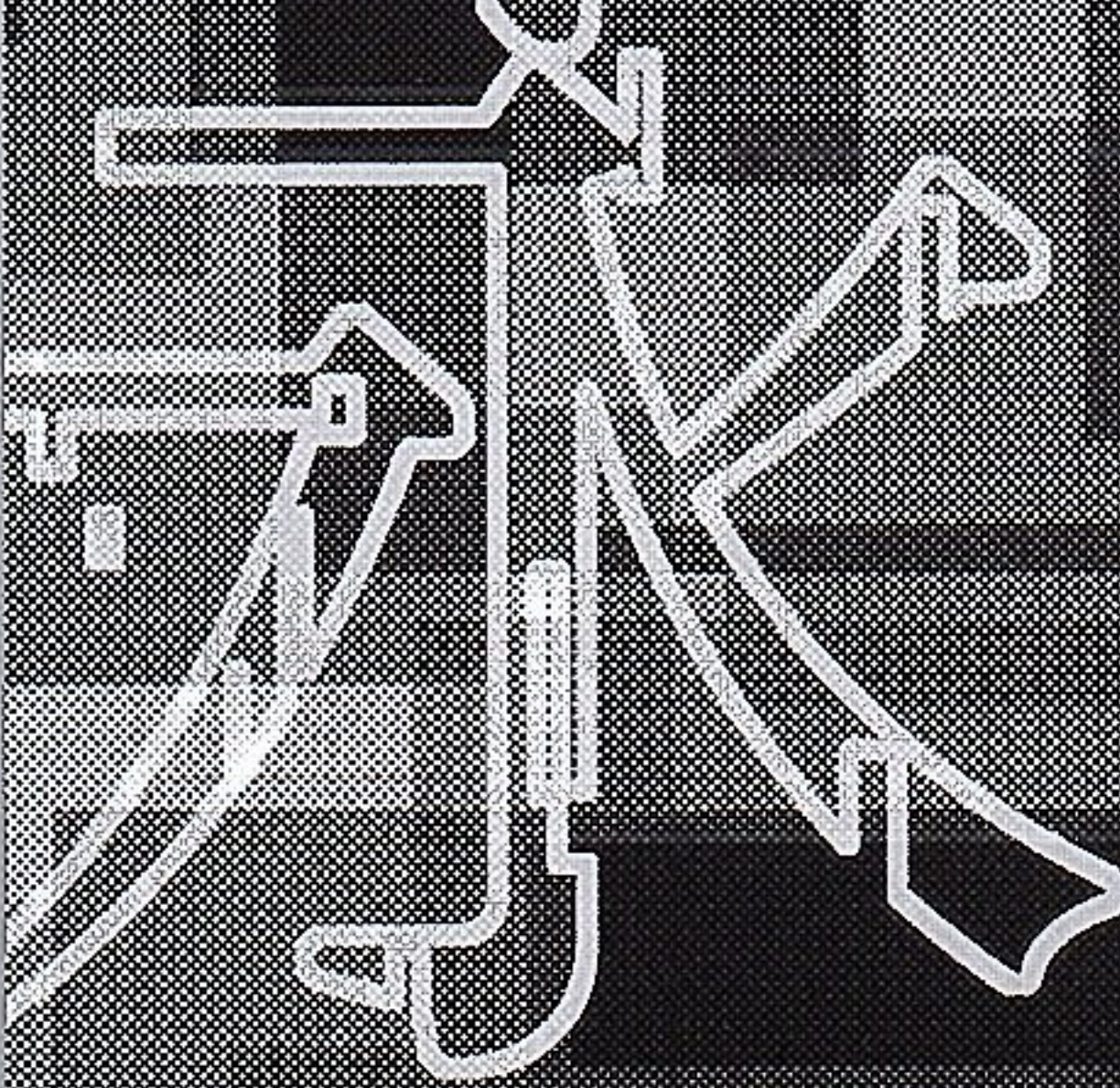
応答を……
こちらのサーバに
存在を確認して……
いた……のですが

何でもいわずと
このままずっと
キモチ良く、ずっと
蕩けていた……と
思うだけ……

認……識でき
ないよう
で……す

す……保安員さん、
ないア……汚……しちゃった

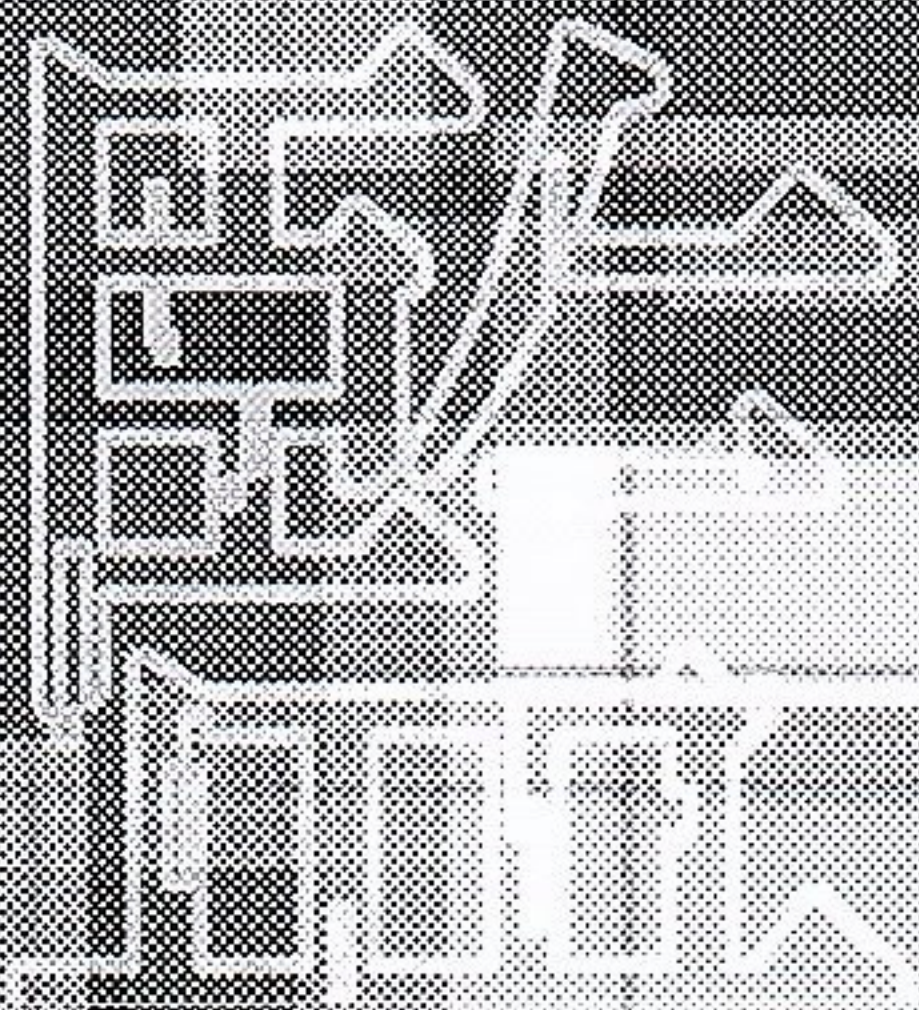
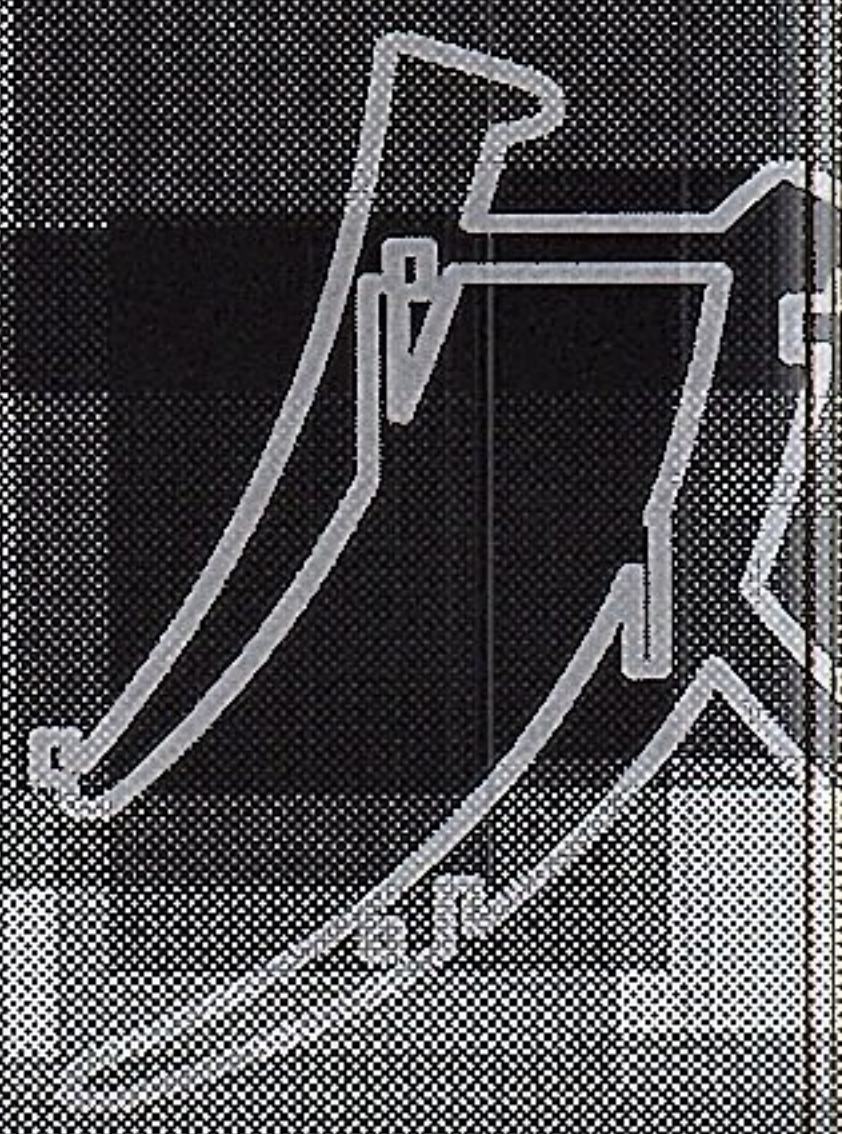
ああ……



いやー、毎回毎回難産な原稿なのですが、今回はホント苦勞しました・・・ああ、大変だろうなあと思って始めたのですが、予想以上で・・・ただ、下書きは楽しくやれてました、ペン入れが地獄になりましたが・・・やー、小説続編が熱くて、一度は見送った本作りでしたが、やっぱりやろう！と。アニメが古き良きOVA時代の懐かしい雰囲気ので大変楽しんだんですが、続編の小説がまた素敵で。ココではまだ未読の方の為にネタバレは避けませんが、個人的には最高でした。ただ、アニメの爽やかさとまた違って、結構ドロドロしているので、その辺は好みもありそうですが、自分は最近涙腺が緩いので、後半泣きながら読んでましたね・・・

本のネームはどんな切り口にしようか色々悩んだのですが、まあ、何かいつも通りに落ち着いちゃいました。なるべく専門用語も色々入れたいとか無い頭で考え込みましたが・・・結局ウチはバッドエンドばかりです、ハイ。小説と言えば、前日譚のアンジェラさんのお話もあの世界観を味わえて、アンジェラさんの若いマジメっぷりも知れて、楽しかったですねー。

ああ、今回はアーハンも是非描きたかったのですが・・・（せめてこのページとか奥付とか）全然時間とれなかったです・・・いずれ何処かでアーハン描きたい・・・！



最終回

禁無断転載・無断複製

未成年の購読、閲覧はお断りします。

黒電池 Dark battery

発行 2016/02/28

連絡 kuroipony@yahoo.co.jp

発行者 茗荷

印刷 ねこのしっぽ様



2016 Myouga presents
Dark battery

黒電池